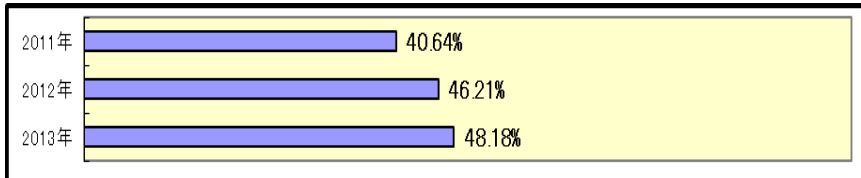


診療情報管理委員会ニュース

(2011年～2013年：臨床指標結果報告)

VOL. 3 2014年6月 診療情報管理委員会

多職種ケアカンファレンス実施（記載）割合



分子：調査月退院患者のうち、入院期間中に1回以上医師・看護師・コメディカルによるカンファレンス「記録」のある患者

分母：退院患者数

※全日本民医連Q I 推進事業より

<指標の意義>

○この指標はカンファレンスの実施ではなく、多職種によるカンファレンス「記録」を評価します。記録を残すことによりチームでの情報共有が促進され、プロセス・アウトカムを評価することが可能となります。

※カンファレンスの回数ではなく記録のある患者数算出

※医師・看護師が必須。コメディカルについてはどの職種でも構わない。

※医師・看護師のみのカンファレンスは分子に含まない。

<考察>

○2011年より数値が改善しており、多職種カンファレンスに関する記載率が上がっていると判断できる。しかし、実施数に対する記載割合や、カンファレンスが必要な患者さんの把握と抽出ができておらず、今後の課題として挙げられる。

【臨床指標の作成】

現在、参加事業に関する指標の作成・提出を行っておりますが、各現場にて独自指標の作成希望（数の抽出、比較など）やご意見等あれば、ご相談ください。

（電子カルテ掲示板内の「院内指標」や「医療統計」をご参考ください）



※一般公開許可のある施設のみ院所名を載せております